

報道機関 各位

東北大学マリンサイエンス復興支援室

《シンポジウム開催案内》
震災と海—これからの漁業と養殖業—

東日本大震災から 6 年が経過した今、陸上の復興が目に見えて進んでいます。陸上の復興状況は私たちの目で直接的に把握することができる一方、海の中の様子を知ることは簡単ではありません。漁業復興を成し得るためには、震災によって海の状況がどのように変化したのか、その後どのように回復してきたのかを明らかにする必要があります。

これまで宮城県、東北区水産研究所、東北大学の研究者によって結成された宮城水産復興連携協議会は、それぞれの漁業復興に関する共同研究や情報共有を行ってきました。その成果のトピックスを多くの方々に伝え、そしてこれからの漁業について共に考えるシンポジウムを女川で開催いたします。

つきましては、ご多用のところとは存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。当日取材をご希望される報道機関の方は、3 月 17 日（金）16:00 までに東北大学マリンサイエンス復興支援室（連絡先次頁）へ申し込みください。

【シンポジウムのポイント】

- ・震災後の海洋環境はどのように変化したのか。
- ・これからの漁業と養殖業が目指すべきところはどこか。

記

イベント名： 震災と海 —これからの漁業と養殖業—
日 時： 平成 29 年 3 月 18 日（土）13:00～17:00（開場：12:30）
会 場： 女川町まちなか交流館 ホール（次頁地図参照）
対 象： 漁業関係者・一般市民・学生ほか
申込み方法等： 事前申し込み不要（先着 120 名、入場無料）
講演者： 原 素之（東北大学大学院農学研究科 教授）
金子健司（東北大学大学院農学研究科 准教授）
片山亜優（東北大学大学院農学研究科 特任助教）
太田裕達（宮城県水産技術総合センター 総括研究員）
笥 茂穂（東北区水産研究所 主任研究員）
松永賢治（明豊漁業株式会社 代表取締役社長）

パネルディスカッション：

永島 宏（宮城県水産技術総合センター 副所長兼企画情報部長）
秋山秀樹（東北区水産研究所 所長）
平塚正信（宮城県漁業協同組合 女川町支所 支所長）
木島明博（東北大学女川フィールドセンター 教授）

以上

【詳細】

宮城県内の水産研究機関である宮城県、東北区水産研究所および東北大学からなる宮城水産復興連携協議会では、東日本大震災からの復興に関する共同研究や情報共有を行い、共に漁業復興支援を行ってきました。

このたび、これまでに行ってきた調査研究の成果を、宮城県を中心とした漁業関係者、一般市民の方々に広く知って頂くことを目的として平成 29 年 3 月 18 日（土）に被災地である女川町において公開シンポジウム「震災と海ーこれからの漁業と養殖業ー」を開催します。

本シンポジウムでは震災で失われた漁業と養殖業の復興をテーマに、震災による養殖環境の変化と変遷を振り返り、これからの漁業・水産業がどこを目指していくのかについて生産者である漁業者の皆様、消費者である一般市民の皆様、それを支援する行政の皆様、そして漁場環境や生態系研究によって生産を支援していく科学者が一堂に会して考えていきます。

会場アクセス

女川町まちなか交流会 ホール

所在地

〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原 1-36

電話：0225-24-6677 / FAX：0225-24-6679

(女川駅裏手に無料の駐車場をご用意しております。)



問い合わせ先

東北大学マリンサイエンス復興支援室

担当：片山亜優

電話：0225-90-3969

E-mail：ayu.katayama.b2@tohoku.ac.jp

震災と海 — これからの漁業と養殖業 —

2017年
3月18日(土)
13:00 ~ 17:00
12:30 (開場)

プログラム

司会：原 素之 (東北大学)

- 12:30~ 開場
13:00~13:10 開会・挨拶 木島明博 (東北大学)
13:10~13:20 来賓挨拶 須田善明 (女川町長)

I. 宮城水産復興連携協議会の活動

- 13:20~13:35 活動紹介 原 素之 (東北大学)

II. 震災による海洋環境の変化と漁業復興

- 13:35~13:50 震災後における女川湾の環境変化について 金子健司 (東北大学)
13:50~14:05 女川湾の養殖環境と養殖生物について 片山亜優 (東北大学)
14:05~14:25 震災前後の沿岸漁場環境の変化について 太田裕達 (宮城県水産技術総合センター)
14:25~14:45 松島湾のマガキ採苗不良をもたらす低塩化と湾内の循環 笥 茂穂 (東北区水産研究所)

III. これからの水産

- 14:45~15:05 エコラベルと水産業 松永賢治 (明豊漁業株式会社)

15:05~15:15 休憩 (10分)

IV. 総合討論

- 15:15~16:15 パネルディスカッション
— 今後、宮城県の水産業が目指すべきところ —
モデレーター：永島 宏 (宮城県水産技術総合センター)
パネリスト：秋山秀樹 (東北区水産研究所)
木島明博 (東北大学)
永島 宏 (宮城県水産技術総合センター)
平塚正信 (宮城県漁業協同組合)

- 16:15~ 閉会・挨拶 秋山秀樹 (東北区水産研究所)



場所

女川町まちなか交流館 ホール (約120人 収容)

所在地：〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原 1-36

電話：0225-24-6677 / FAX：0225-24-6679

アクセス MAP



仙台駅から JR を
利用する場合

- JR 仙石線経由 / 約 2 時間
仙台駅 (仙石線) → 石巻駅 (石巻線) → 女川駅
- JR 東北本線経由 / 約 2 時間
仙台駅 (東北本線) → 小牛田駅 (石巻線) → 女川駅

主催：宮城水産復興連携協議会 (東北大学マリンサイエンス復興支援室・宮城県・東北区水産研究所)

共催：東北マリンサイエンス拠点形成事業、東北大学女川フィールドセンター

後援：女川町

お問い合わせ先

東北大学マリンサイエンス復興支援室 片山亜優

電話：0225 - 90 - 3969